

## エクスペッションペダルのアサインのコツ

- ・ エクスペッションペダルがアサインされているノブを手動で動かした際は、エクスペッションペダルでの設定が無効になりノブの設定が優先されます。ノブで設定を動かした後再度エクスペッションペダルを動かした場合は、ノブで設定された場所からエクスペッションペダルで設定を外部から操作する事になります。
- ・ 各Presetでユーザーの希望のエクスペッションのアサインを選択できます。
- ・ Control Voltage、CVを入力する事も可能です！CVのレンジは0から0.3vまで。

## TRS expression pedal wiring:

Tip= Wiper / Ring= +3.3V / Sleeve= Ground

### <<< フレキシ・スイッチング >>>

この製品にはフレキシ・スイッチ (Flexi-Switch®) 機能が搭載されています。電子リレー方式のトゥルーバイパスで、踏み方の違いによって通常のラッチ式のスイッチとしても、モーメンタリースイッチ (アンラッチ式) としても使用可能です。

- ・ ラッチ方式のスイッチとしての使用の場合は、通常のエフェクターのスイッチの様にオンにしたい時に一回踏み、オフにしたい時にスイッチを再度一回踏み込んでください。
- ・ モーメンタリースイッチとしての使用の場合は、スイッチを踏み込んでいる間だけエフェクターがオンになり、一度スイッチを放すとオフになります。

電子リレー方式のスイッチを使用しておりますので、電源が供給されなければ入力された信号は出力されません。

### <<< 電源 >>>

- ・ 消費電流: 75 mA
- ・ この製品は9V、ACアダプターで2.1mmのセンターマイナスのアダプターで使用できます。デジチェーンやトランス方式でないパワーアダプター等の使用ではノイズが乗る事が有りますので当社では推奨しておりません。また故障の原因になりますので9Vを超える電源は使用しないでください!

### <<< 製品仕様 >>>

入力インピーダンス: 500 kOhm  
出力インピーダンス: 100 Ohm

本体サイズ: 12.07cm x 6.35cm x 5.72cm  
本体重量: 0.40 kg

### <<< 付属品 >>>

取扱説明書×1  
保証書×1  
安全上のご注意×1

#### 製品の取扱に関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口  
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)  
TEL: 0570-056-808 (ナビダイヤル) または 053-533-5003  
URL: <https://jpyamaha.com/support/>  
※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

#### 修理に関するお問い合わせ先

ヤマハ修理ご相談センター  
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)  
TEL: 0570-012-808 (ナビダイヤル) または 053-460-4830

#### 輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM営業部輸入商品課  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL: 03-5488-5445



[www.earthquakerdevices.jp](http://www.earthquakerdevices.jp)  
©2023 EarthQuaker Devices LLC

# Aurelius™



説明書

周波数あそびが好きな方々、Aurelius (アウレリウス) の世界へようこそ! どうでしょ。これはありふれた並のコーラスペダルではありませんよ。

このコンパクトで美しい筐体のアウリウスは3種のコーラスモード、6つのプリセットモードとエクスペッション機能を搭載しています。ビブラートモード (V)、コーラスモード (C)、ロータリーモード (R) からモジュレーションの種類を選択でき、Width、Rate、Balanceを駆使して音作りができます。あなたの気のおもむくままに各モードを断続的に行き来する事ができ、中央のPresetスイッチで瞬時に気に入りの音色を保存したり呼び出しも可能です。どうです?少しはワクワクしてきましたか?

1970年台に発売されたコーラスペダル、CE-1 Chorus Ensembleに心を掻き立てられ、幾度となく改良を重ねられたこの小さなデジタルの箱は、他にどこでも得られないコーラス/ビブラート体験を提供します。ロータリーモードで採用された音は、1940年台に産み出されたレズリースピーカーの音の出る構造とそこから出される音色を実際に研究した結果です。レズリー内部のホーン動きやスピードの違いによるフェイジング、出音の違いを細かく調べ上げて、ギターやベースだけでは無く、一緒に使うどんな楽器でも最適に使える様に音のチューニングを仕上げました。

そして社社の他のペダルへの沢山の要望と同じく、このペダルにTRS仕様のエクスペッションペダルで外部から操作できる機能を搭載しており、Width、Rate、Balanceにアサインが可能になります。Widthにアサインすれば緩やかな波の様なコーラスから船酔いをしてしまいそうなモジュレーションを断続的に行き来する事も。でもこれは単なるアイデアの一つなので、あなたの足さばき次第でエンドレスな可能性を秘めています。

このコンパクトな箱に詰まったコーラスの世界は、どんなペダルボードにでもフィットして直感的に使える操作感なので、後でこの説明書に戻ってくる必要は無いと思いますので最後までお付き合いください。レズリーの開発者 Donald Leslieの魂もここに宿っていると思っております!

## <<< モードV - CHORUS/VIBRATO >>>

モードVはみなさんにお馴染みの伝統的なコーラスエフェクトが元になっておりますが、三角波のLFOモジュレーションを使ってビブラートエフェクト寄りのチューニングになっており、ショートディレイも重ねてあります。このモードではBalanceを右に回し切ると原音が取り除かれエフェクト音のみとなり、その際はピッチビブラートとして使用できます。

### コントロール

**Width:**LFOの調整でピッチモジュレーションの変わる幅が変化します。

**Rate:**LFOの速さの調整でピッチが動く速度が変化します。

**Balance:**ピッチの変化したエフェクト音を原音にどれくらい混ぜ込むかの調整。一番右に回し切ると原音が取り除かれエフェクト音のみとなり、その際はピッチビブラートとして使用できます。

## <<< モードC - CHORUS/FLANGER >>>

モードCはコーラスとフランジャーを掛け合わせた様なエフェクトです。モードVよりももっと暖かくスピードも遅くなり、LFOには正弦波を採用しディレイラインを変化させます。このモードではWidthが重要な役目をしており、この設定によってモジュレーションのキャラクターを決定します。

### コントロール

**Width:**LFOの調整でピッチモジュレーションの変わる幅が変化します。高い設定では強調されたフランジャー効果が得られます。Widthが12時方向より高い設定ではフォードバックが徐々に加わりフランジャー効果がさらに目立つようになります。

**Rate:**LFOの速さの調整。

**Balance:**エフェクト音の音量の調整。時計回りに上げる毎にエフェクト音を強調します。

## <<< モードR - ROTARY CHORUS >>>

モードRはレズリースピーカーの出音を再現した、ロータリー/コーラス効果を生むエフェクトです。ドブラー効果を生むフリークエンシーモジュレーションと音量の上げ下げを再現します。

### コントロール

**Width:**LFOの動きの調整で、ピッチの動きがどれくらい幅が広がるかを設定します。反時計回りに低い位置で設定すると、レズリースピーカーのウーファー効果の再現をする低音に寄った出力が強調され、時計回りで高い位置に設定すると、レズリースピーカーのホーン部の高域に寄った出力が強調されます。

**Rate:**LFOの速さの調整。

**Balance:**エフェクト音と原音のバランスの調整。時計回りに上げて行くと脈を打つ様な低音部が強調されていきます。

## <<< 共通の機能 >>>

アウレリウスは二つのモードを搭載しており、Save/Recallスイッチの色でモードの区別ができます。

### 緑 = Liveモード

アウレリウスをPresetに保存された設定で使用できます。Presetノブから保存して音色を選択し、このモードを使用の際はノブの設定は無視されます。Save/Recallスイッチは赤で点灯します。

### 赤 = Presetモード

アウレリウスをPresetに保存された設定で使用できます。Presetノブから保存して音色を選択し、このモードを使用の際はノブの設定は無視されます。Save/Recallスイッチは赤で点灯します。

アウレリウスの出庫時の設定はLiveモードです。

## <<< PRESETS >>>

アウレリウスには貴方のお気に入りの設定を保存できる6個のPresetを搭載しています。各ノブの設定、モード、そしてアサインしたエクスペッションペダルの設定を1から6までのご希望の番号に保存、呼び込みができます。なお、出庫時には特定のプリセットは保存されておりません。

### 保存の方法

1. 保存したい設定の番号に合わせる
2. 保存したい音色の設定を決める。モードとエクスペッションペダルの指定もお忘れなく!
3. Save/RecallスイッチのLEDが点滅するまで押し込み、点滅を確認したら戻す。
4. ご希望の設定の保存が完了。

### 保存した設定の呼び込み

以下の二つの方法の一つを使って、保存した設定を呼び込む事が可能です。

1. ペダルをオンにしての使用時にフットスイッチを0.75秒以上踏むとLiveモードからPresetモードに変わります。この機能を使う事によってLiveモードとPresetモードを瞬時に行き来する事が可能になります!
2. Save/Recallを押すとスイッチのLEDが緑から赤に変わり、Presetモードに入れます。LEDが赤の状態の時にスイッチを押すと緑に代わり、Liveモードに戻る事ができます。

### Presetの変更と上書き

1. Presetモード (Save/RecallスイッチのLEDが赤なのを確認) でご希望のPreset番号に合わせ、保存したい音色を作る。Save/Recallスイッチが赤く点滅していればPresetに変更が加わったサインです。
2. Save/RecallスイッチをLEDが緑と赤で点滅するまで押し込み、点滅を確認してスイッチを戻す。
3. Save/Recallスイッチが赤に点灯し上書きの保存が完了。

### Preset使用の際のコツ

- ・ エクスペッションペダルのアサインもPresetに保存されます!
- ・ Presetの保存はアウレリウスがLiveモードとPresetモードどちらの時にでも可能です。
- ・ 保存されたPresetの音色を変更する際は、音色の変更を始める前にPresetモードに入っている事を確認してください。

## <<< エクスペッションペダルの操作 >>>

TRS仕様のエクスペッションペダルを使用して外部からWidth、Rate、そしてBalanceを操作できます! アウレリウスの出庫時のエクスペッションのアサインはRateの設定されていますが、以下の方法でアサインする機能の変更が可能です。

1. エクスペッションペダルケーブル (TRSケーブルである事を確認する) を本体横に差し込みます。
2. エクスペッションペダルをつま先側に踏み込みます。
3. アウレリウス上で外部から操作したいノブを動かします。動かす大きさや方向は関係ありません。
4. エクスペッションペダルをかかと側に動かします。
5. これでご希望のノブが外部からエクスペッションペダルを使って操作が可能になります!